

実践例 総合的な学習の時間(3年) 6月実施

単元名「とびだせ!町のたんけんたい ～わたしたちの町のいいところを見つけよう～」
(5 1時間予定の25時間目)

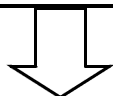
<授業の視点>

グループで分類・整理したものを活用したり友達と話し合ったりする活動を取り入れたことは、農産物に関わる「わたしたちの町のいいところ」について考える上で、有効であったか。

【つかむ】・・・課題把握

<本時の学習課題>

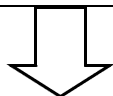
地域の のうさん物を調べたことから、「わたしたちの町のいいところ」を考え、学級全体でまとめよう。



手立て① 見学してメモした用紙をもとに、各グループごとに「町のいいところ」について考え、まとめておいたものを提示した。

【追求する】

グループごとに考えた「わたしたちの町のいいところ」について発表し合い、学級全体で話し合いました。



手立て② グループごとにまとめたメモや調査体験後の感想を振り返らせ、学級全体で話し合わせるために、どんなよさがあったのか、理由とともにグループごとに確認させた。



ブルーベリー園

ブルーベリー園では東京や埼玉から楽しみにしてお客さんが来ることや北海道や沖縄からも注文が来ることがわかったよ。「**遠くの人とつながっている**」というよさがあったね。

他にも「ブルーベリー園のいいところが・・・」
・星野さんはやさしい気持ちでやっている
・れきしがいっぱい
・びっくい2000本以上の木が
・ブルーベリーをおいしくするくふう
・さぎょうはとともたいへん

他にも「トマト農家のいいところが・・・」
・親子愛いっぱい
・トマトのひみつ
・そう平さんの仕事10こもあるよ
・そう平さんの農家は、29年目

朝は5時から夕方は暗くなる7時まで働いているなんて驚いたね。わたしたちの町には「**こんなに働いている**」人がいたとはびっくり。



トマト農家



あざみさんは、あまくておいしいサクランボを作るために、いっしょうけんめい努力していたね。お客さんに喜ばれると「あざみさんもとっても嬉しい」んだね。

他にも「サクランボ園のいいところが…」

- ・とってもあまいサクランボ
- ・わたしたちのかんそう
- ・あざみさんは、たいへんだけど…！
- ・すごいな、あざみさん

サクランボ園

他にも「松井さんのいいところが…」

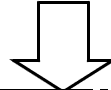
- ・やさいのれきし55年
- ・松井さんはすごい人
- ・松井さんすごい事55年
- ・リヤカーで商売

松井さんは今年、88才で55年間も自分で作った野菜を売っているなんて、すごい。お客さんは、松井さんが来るのを待っているんだって、「お客さんとなかよし」なんだね。



野菜の引き売り 松井さん

次に、グループごとに「いいところ」を発表しながら、学級全体で「町のいいところ」について考えていきましょう。友達の意見は、理由についてももしっかり聞き、自分達の意見と同じなのか違うのか考えながら聞きましょう。



手立て③ グループごとに発表されたことを黒板に整理してまとめていくようにする。出された意見が他のグループにも共通していないか考えさせ、児童の意見をつないでいく。



前時に短冊に「いいところ」は書かせておき、掲示しました。理由は短い言葉で板書して行きました。



他のグループの調査活動が分かるように、写真を見合いながら、「町のいいところ」について話し合っていました。



松井さんは、みんなに野菜や果物を食べてもらいたい気持ちで、仕事をやっているそうです。88才なのに、元気で重いリヤカーを引いてすごいです。

ブルーベリー園の星野さんもお客さんのことを大切に思っていたな。ほくたちにも親切にしてくれた。



トマト農家の角田さんも家族と協力しながら、たいへな仕事を頑張っていたよ。私たちに、やさしく笑顔で教えてくれたな。

サクランボ園のあざみさんは、おいしいサクランボを作るために一晩中、火を燃やすこともあります。でもお客さんに喜んでもらうと、とても嬉しいそうです。

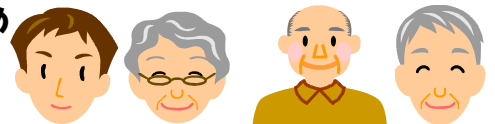


4つのグループともに、同じだなと思ったことを発表しましょう。

手立て④ 一人一人が見つけた「わたしたちの町のいいところ」であることを認識させ、地域には一生懸命おいしいものを作ろうと努力している人があるという点にも気付かせる。



まとめ



親切

元気

やさしい

えがお

- ・おいしいものいっぱい
- ・がんばっている人
- ・お客さんのえがお

【まとめる】

地域には、お客さんのために一生懸命おいしいものを作ろうと努力している人があると分かりました。今日の学習を振り返り、感想を書きましょう。

手立て⑤ 学習シートに本時の感想を書かせ、次時への意欲付けを図った。

授業を終えて

《成果と課題》

①成果

- 子どもの意識を踏まえて単元構成をしたことにより、子どもの意識の流れが手に取るようによく分かった。
- 体験活動が充実していたことにより、発言や感想の中に子どもの成長が感じられた。
- 教師が子どもの意見をうまく引き出すことができた。
- 児童が何でも言える学級の雰囲気がつくれていた。
- わたしたちの町のよいところに関する具体的なことで、児童の考えの交流ができた。
- グループでの話し合いや理由付けの発言の仕方が身に付いていて、これまでの活動の成果が見られた。

②課題

- 前時の思考が大事なので、その時間が見せられるとよかった。
(情報→分かったこと→自分の考え)
- 思考力をつけるための手立てがあまり作用していなかったので、そのスキルアップの検証が必要である。
- 話し合いにおいては、みんなに意見を投げかけていこうという意識付けが大切である。
他の教科でも話し合うをつけていく。
- 発問はポイントをしぼり、逆思考でねらいに迫るようにする。
- 大課題の意識をもっともたせ、全体構想の手立てを取り入れた授業の展開をしていく。